



稲生京子さん(左)と  
富田直美さん

■2018. 2.26

今年度、感染管理  
ベストプラクティス  
の研修に看護助手  
部会を担当している

看護長 富田さんと、看護助手リーダーの 稲生さんが参加しました。ベストプラクティスとは問題解決のための優れた実践法のことです。その研修の成果発表が先日実施されました。

成果は、【日常清掃(環境整備)】マニュアルの作成でした。最近、環境整備は看護師より看護助手さんが実施することが多くなりました。看護師の環境整備マニュアルはありますが、看護助手のマニュアルがありません。それに着眼したようです。いつ環境クロスを交換するのか、エプロンはいつ交換するのか、除菌クロスと環境クロスの使い分けは？これらの疑問が一目でわかる手順マニュアルとチェックリストが作成されていました。これがあると、看護助手間の相違はなくなります。

稲生さんは、5月に全国大会で発表する予定です。

当院のベストプラクティスを、広めてきて欲しいと思います。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。